



# うらばんだいあそび

高橋真希 (はしがまき)

空がはれて、雪が降ると、うらばんだいあそびで生活したい!

## うらばんだいあそび

創刊の巻内号 1997. 2. 1

はじめまして。(ごぞんじの方は、あらためまして、こんにちは)  
私は高橋真希といいます。埼玉は、浦和生まれの浦和育ちです。

かつて(財)日本自然保護協会が、全国各地の国立公園で、  
言われた人たちに自然のはなしをしたり、清掃・パトロール等をする  
"サザンジャー"という名のボランティアを募集していました。  
私は、なんとなくそれに応募し、それまで今行ったことなかった  
裏磐梯・朝日国立公園の裏磐梯地区に、くづりにもきましたのが  
すべての始まりでした。

裏磐梯の自然も、そのとき出会った人たちも、私にはいつかあったようで、  
それ以来、約10年、毎年かよっています。いつか、郡山から磐城西線  
にのると、自分のふるさとへ帰っていくような気がするようになっていました。

さて、この10年に、さまざまな経験をjするうち、ある考えが私の中で  
まとまってきました。それは「自然を守るのは、その地域の住人  
自身が中心になってやるほうがいい」というものでした。

そこに住んでいる人は、まわりの自然に関心があっても、愛すばかりではない  
かもしれません。例えば、裏磐梯では冬は2mもの積雪がある、  
生活は楽ではなさそうです。また、生活のために、イカくとどろか  
いるから、スキー場が必要になってくることもある。それ  
で、自然がすぎなら、生活をたじたせながら、自然が維持  
できる方法を探していけばいいのでは? ———— と思っています。

それで、単純な私は、裏磐梯の住人になって、この自然を維持  
していくようなことをやる(それは、どんなものか、わからないけど)、  
と決めました。

しかし、行動をおこしてみたものの、なかなか思うようにいかない時を  
すごしていました。でも「やりたい」と思い続けたら、幸運なことこ、  
この1月、裏磐梯に、住居と仕事が見つかったのです。う、うん、い、  
さあ、こけおた、とこどん、やりたいことをやるぞ!  
——— というのが、今の私の心境です。